

平成28年度

# 事業報告書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人 根津美術館

東京都港区南青山6丁目5番1号

# 目次

I 公益事業.....	3
【事業の趣旨】 .....	3
【施設の概要】 .....	3
【事業の概要】 .....	3
1. 展示活動.....	3
(1) 特別展・コレクション展.....	3
(3) ミュージアムショップ .....	5
(4) 喫茶店.....	6
2. 美術品の収集、保管及び修復.....	6
(1) 美術品の購入.....	6
(2) 美術品の保管・修復.....	6
(3) 美術品の寄贈受入.....	7
(4) 美術品の寄託受入.....	7
3. 調査研究.....	7
(1) 調査・研究.....	7
(2) データベース .....	7
(3) 研究資料の整備 .....	8
(4) 学術プロジェクトへの参加.....	8
(5) 美術品の閲覧.....	9
4. 教育普及.....	10
(1) 催事.....	10
(2) その他の館内催事.....	13
(3) 館外催事 .....	13
(4) インターネットによる広報.....	14
(5) プレスリリース .....	14
(6) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット .....	14
(7) 内覧会・レセプション .....	14
(8) 施設案内パンフレット .....	15
(10) 地域との連携 .....	15
(11) 有料広告.....	16
(12) 根津倶楽部.....	16
(13) NEZUNET .....	16
(14) 青山茶会.....	16
(15) 美術品の館外貸出.....	17
(16) 画像の貸出.....	19
(17) 施設の貸与.....	19
II 収益事業.....	20

【事業の概要】 .....	20
1. 不動産事業 .....	20
Ⅲ 庶務の概要 .....	21
1. 役員 .....	21
2. 職員 .....	23
3. 役員会 .....	24
(1) 理事会 .....	24
(2) 評議員会 .....	25
Ⅳ 事業報告の附属明細書 .....	26

# I 公益事業

## 【事業の趣旨】

昭和 15 年(1940) 11 月、初代根津嘉一郎(1860～1940)の遺志により財団法人を設立、翌年 10 月に開館した根津美術館は、美術品の展示及び教育・普及活動を行うことにより、多くの人々が日本・東洋古美術を鑑賞し、芸術・文化に関する理解を深めることを目的とした諸事業を展開している。

今年度もその理念に基づき、特別展 3 回と所蔵美術品によるコレクション展 4 回を開催し、展覧会に関連した講演会、会員向けプログラム、施設を利用した催事などを実施した。

所蔵美術品の調査研究を行い、その成果を館内外での発表や紀要や図録等の刊行物により公表し、館外の学術研究及び教育普及活動への協力などを行った。また、継続的な収集活動によってコレクションの充実を図り、修復などによる美術品の維持・管理に努めた。

## 【施設の概要】

平成 21 年 10 月に新創開館した本館は地上 2 階(展示室 1～6 など)、地下 1 階(講堂など)。平成 2 年に建設した展示施設を同 19 年に収蔵庫と事務室に改装した事務棟は地上 2 階、地下 1 階からなる。平成 21 年度地域新エネルギー等導入促進対策費補助金補助事業で導入した、本館 2 階屋根上の 252 枚のソーラーシステムパネルを引き続き運用し、資源エネルギーの活用にも努めている。

日本庭園には、薬師堂および茶室 4 棟があり、各所に石造物約 150 件が据えられている。庭園の豊かな樹木は港区の保護樹林に指定されている。

## 【事業の概要】

### 1. 展示活動

#### (1) 特別展・コレクション展

美術館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時までとし、月曜日と展示替期間及び年末年始を除く毎日開館した。特別展「国宝 燕子花図屏風」会期中の 5 月 10 日(火)より 5 月 15 日(日)までの開催日 6 日間は、午後 7 時まで開館時間を延長した。

入館料は、特別展の場合一般 1,300 円、学生 1,000 円、コレクション展では一般 1,100 円、学生 800 円とし、いずれも中学生以下は無料とした。20 名以上の団体、障害者手帳提示者と同伴 1 名及び運転経歴証明書提示者へは 1 名につき 200 円の割引を行い、また 200 円割引料金の次回展の前売券を美術館内で販売した。

平成 28 年度は、開館日数計 244 日間に、来館者 243,891 名(うち有料来館 222,778 名)を迎えた。

1 階展示室 1(場合により展示室 2、5 を含む)では、下記の 7 回の特別展及びコレクション展を開催し、同時に、展示室 2 あるいは 5 では、特別展・コレクション展の内容とのバランスをはかり、それと異なるあるいは連動するジャンルやテーマに基づくテーマ展示を、また展示室 6 では季節に合わせた茶道具の展示を下記のとおり行った。

また、ホール～展示室 3「仏教美術の魅力」では、展示室 3 に「春日若宮大般若経」(会期ごとに展示替え)と「春日厨子」を展示(4 月 13 日(水)～12 月 18 日(日))、また、特別展示「再会―興福寺の梵天・帝釈天」(1 月 7 日(土)～3 月 31 日(金))を行った。

展示室 4「古代中国の青銅器」は平成 25 年度より、展示作品の一部にテーマ性のある展示を行っており、今年度は、「葡萄文の鏡」を展示した。

特別展は当館の所蔵美術品のみならず館外から借用する美術品も含めて構成し、コレクション展は

所蔵美術品を中心に、適宜特別出品、参考出品などの作品により構成した。いずれの展覧会も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となって、作品の選定、運搬、会場構成、展示、特別展図録、関連する所蔵品図録などの作成を行った。また、鑑賞しやすさを考慮した展示に努め、国内外からの来館者が理解しやすい日本語・英語表記の展示解説を付し、日本語の音声ガイドを備えた。

- ・特別展「国宝 燕子花図屏風―歌をまとう絵の系譜―」 展示室 1・2  
平成 28 年 4 月 13 日（水）～5 月 15 日（日） 展示日数 30 日間  
同時開催「部屋を飾る小品たち ―藤崎コレクションの陶磁―」 展示室 5  
「初風呂の茶」 展示室 6  
入館者 45,677 名（有料 41,638 名）
- ・コレクション展「鏡の魔力 ―村上コレクションの古鏡―」 展示室 1  
平成 28 年 5 月 26 日（木）～7 月 10 日（日） 展示日数 40 日間  
同時開催  
特別企画「若き日の雪舟―初公開の『芦葉達磨図』と拙宗の水墨画―」 展示室 2  
「花と鳥の絵画」 展示室 5  
「雨中の茶の湯」 展示室 6  
入館者 23,322 名（有料 20,815 名）
- ・コレクション展「はじめての古美術鑑賞 ―絵画の技法―」 展示室 1・2  
平成 28 年 7 月 23 日（土）～9 月 4 日（日） 展示日数 38 日間  
同時開催「書く楽しみ」 展示室 5  
「根津青山の軽井沢の茶」 展示室 6  
入館者 26,038 名（有料 23,367 名）
- ・コレクション展「中国陶磁勉強会」 展示室 1  
平成 28 年 9 月 15 日（木）～10 月 23 日（日） 展示日数 34 日間  
同時開催「国宝『漁村夕照図』」 展示室 2  
「中国の漆器」 展示室 5  
「名残の茶会」 展示室 6  
入館者 21,872 名（有料 19,764 名）
- ・開館 75 周年記念特別展「円山応挙―『写生』を超えて―」 展示室 1・2・5  
平成 28 年 11 月 3 日（木・祝）～12 月 18 日（日） 展示日数 40 日間  
同時開催「茶人の正月 ―口切―」 展示室 6  
入館者 78,657 名（有料 74,378 名）
- ・コレクション展「染付誕生 400 年」 展示室 1・2  
平成 29 年 1 月 7 日（土）～2 月 19 日（日） 展示日数 38 日間  
同時開催「百椿図」 展示室 5  
「点初め ―新年を祝う―」 展示室 6  
入館者 28,050 名（有料 24,714 名）
- ・特別展「高麗仏画 ―香りたつ装飾美―」 展示室 1・2  
平成 29 年 3 月 4 日（土）～3 月 31 日（金） 展示日数 24 日間  
同時開催「更紗の魅力」 展示室 5  
「大師会と根津青山」 展示室 6  
入館者 20,275 名（有料 18,102 名）

なお、展覧会開催中、以下のとおり国内外の要人を多数お迎えした。

平成 28 年 4 月 26 日 シンガポール外務大臣夫人  
平成 28 年 5 月 13 日 ペルー大使夫妻  
平成 28 年 5 月 16 日 メキシコ大使夫妻  
平成 28 年 7 月 31 日 ドイツ議会副議長  
平成 28 年 9 月 30 日 オーストラリア ニューサウスウェールズ州最高裁長官夫妻  
平成 29 年 1 月 18 日 元欧州理事会議長  
平成 29 年 3 月 15 日 モザンビーク大統領夫人  
その他、駐日在外公館員など。

## (2) 日本庭園

17,000 平米におよぶ日本庭園は、中央に湧水の池を配する変化に富んだ地形に喬木や灌木が茂り、池の周囲に建つ 4 棟の茶室や点在する約 150 件の石造物が風情を添える。四季に応じた自然の変化を楽しむことのできる庭園の存在は、当館の特色のひとつでもある。当年度は、①樹木の剪定・枯枝の除去等を意欲的に行い②太鼓橋を平橋に架け替え、諸垣根の更新③池の燕子花を拵げ、来館者の安全安心を最優先した環境の整備に心がけ、生態系の維持管理に努めた。

平成 25 年 10 月より、毎月木曜日に 1 棟ずつ、一般来館者向けの茶室見学会を開催している。

### [平成 28 年]

6 月 16 日 (木)	一樹庵・披錦齋	42 名
7 月 28 日 (木)	斑鳩庵・清溪亭	83 名
8 月 11 日 (木)	弘仁亭・無事庵	118 名
9 月 15 日 (木)	閑中庵・牛部屋	48 名
10 月 13 日 (木)	一樹庵・披錦齋	135 名
11 月 24 日 (木)	弘仁亭・無事庵	48 名
12 月 8 日 (木)	斑鳩庵・清溪亭	95 名

### [平成 29 年]

1 月 19 日 (木)	閑中庵・牛部屋	74 名
2 月 9 日 (木)	一樹庵・披錦齋	58 名
3 月 16 日 (木)	斑鳩庵・清溪亭	84 名
		計 10 回 785 名

東京都建設局公園緑地部の呼びかけに応じ、「東京の日本庭園おもてなし協議会」に加盟 3 年目。定期会合を通じた意見交換などの活動に参加。昨年につき、茶室周辺の茶庭の開放と Twitter フォトギャラリーを実施。昨年を上回る投稿があり、楽しみ方として定着した感が強い。

## (3) ミュージアムショップ

ホールに隣接するミュージアムショップでは、当館の施設や所蔵美術品、開催の展覧会に関連した商品を取り揃え、来館者の多様なニーズに合った、また知的欲求に適う商品の販売活動を行った。

学術研究の成果に基づく図録や研究紀要などの書籍に加え、展覧会の内容を考慮した専門書・一般書籍を販売するとともに、出展作品の絵葉書やグリーティングカード類、また所蔵美術品をもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナル商品を企画・制作・販売した。さらに、適宜、季節や展覧会のテーマに合った委託商品を加えることでバリエーション豊かな商品構成とし、また効果的なデ

ディスプレイを工夫することにより、当館ならではのショップづくりを促進した。

当年度、新たに製作したオリジナル商品は 19 品目 47 種、委託商品は 17 社 441 種。その中で、国宝「燕子花図屏風」(尾形光琳筆)をモチーフとした折りたたみ傘を製品化した。引き続き山梨市の根津記念館「ミュージアムショップ平等」に商品および出版物の販売を、また東京国立博物館に加え、京都国立博物館・九州国立博物館のミュージアムショップに出版物の販売を委託し、さらに所蔵美術品の貸出先のミュージアムショップには、展覧会の会期中絵葉書などのオリジナル商品の販売を委託した。

#### (4) 喫茶店

庭園内に設置された NEZUCAFÉ は、来館者の憩いや談話の場である。定番の商品に、季節に応じた新品を適宜加えることでメニューに変化をつけ、魅力あるメニュー作りを行った。本年度も展覧会のテーマにちなんだ期間限定商品の開発を行い、話題性のある商品で販売促進に努めた。引き続き抹茶と展覧会テーマ、または季節にちなんだ和菓子のセットを提供した。特別展「国宝燕子花図屏風」展期間中はカフェが混みあうため抹茶セットの提供は難しいと判断し、庭園内茶室の閑中庵牛部屋で抹茶サービスを行った。30 日間で 4,180 名(1 日平均 139 名)が利用した。同じく、特別展「国宝燕子花図屏風」展の夜間開館期間中に、午後 5 時からシャンパンを販売し、美術品の鑑賞と共に地の利を活かしたアフターファイブの新しい楽しみ方を提案した。食品や店内環境の衛生に万全を期すとともに、来館者の憩いや団らんの場として落ち着いた雰囲気の中で庭園の自然を眺める空間を維持し、リピーターやファン層の獲得に努めた。

## 2. 美術品の収集、保管及び修復

### (1) 美術品の購入

本年度に、美術品の購入はなかった。

### (2) 美術品の保管・修復

所蔵美術品の保管を万全にするために、以下の作業を行った。

#### (展示施設)

- ① 展示施設内の虫害に対するモニタリング調査を、年間 2 回(5 月 6 日～6 月 8 日、9 月 24 日～10 月 24 日)実施して、施設環境の監視を行なった。
- ② 展示ケース内の除塵防霉作業を、年間 2 回(7 月 12 日～7 月 15 日、12 月 19 日～12 月 22 日)行った。
- ③ 修理完了作品および虫害の可能性のある作品の被覆燻蒸施工(12 月 19 日～12 月 22 日)を行った。

#### (収蔵施設)

- ① 収蔵庫のカビや虫害に対するモニタリング調査を、年間 2 回(5 月 6 日～6 月 8 日、9 月 24 日～10 月 24 日)実施し、収蔵環境の監視を継続した。
- ② モニタリング調査の結果をもとに、大規模清掃を年間 2 回(5 月 27 日、11 月 15 日～11 月 17 日)実施した。
- ③ 収蔵庫金庫扉の点検(平成 29 年 2 月 1 日)を実施した。

以下の所蔵美術品の修理を実施した。

- ① 本年度、補助修理作品はなかった。
- ② 自費修理および手入

仏涅槃図（2ヶ年継続・2年目）	1幅	半田九清堂
釈迦三尊十六羅漢像	1幅	半田九清堂
重要美術品 赤壁図屏風 長沢芦雪筆（応急修理）	6曲1双	半田九清堂
蓮池蒔絵経箱	1合	目白漆芸文化財研究所
秋草蒔絵鏡箱	1合	目白漆芸文化財研究所
開扇蒔絵香合	1合	目白漆芸文化財研究所
菊桐蒔絵炉縁	1基	目白漆芸文化財研究所
染付花卉文大皿	1枚	ますぶち工房
刀剣手入作業	168口	本阿弥光洲氏

### （3）美術品の寄贈受入

本年度、作品の寄贈はなかった。

### （4）美術品の寄託受入

本年度、下記的美術品の寄託を受け入れた。

芦屋丸文肩衝筒釜	1口	個人蔵
----------	----	-----

## 3. 調査研究

### （1）調査・研究

引き続き、所蔵美術品および展覧会に関わる調査・研究を行い、新たな知見を館内での講演会や館外での学会などで発表するとともに、研究成果にもとづく研究紀要、展覧会図録および所蔵品図録を出版した。

#### ① 紀要

『根津美術館紀要 此君 第8号 特集「双羊尊」研究の現在』

平成29年3月30日発行 800部

#### ② 展覧会図録

『若き日の雪舟—初公開の「芦葉達磨図」と拙宗の水墨画—』

平成28年5月25日 2,500部

『円山応挙—「写生」を超えて—』初刷

平成28年11月2日発行 5,000部

同上 第2刷

平成28年12月5日発行 3,000部

『高麗仏画—香りたつ装飾美—』初刷

平成28年11月2日発行 1,800部

同上 第2刷

平成28年3月3日発行 2,900部

#### ③ コレクション図録

『古伊万里図鑑—山本コレクション総目録—』平成29年1月1日

3,000部

鑑賞シリーズ『古筆切』 第3刷

平成29年3月1日発行 1,500部

### （2）データベース

平成21年度に基本システムが完成した当館の収蔵品データベースについて、データの入力・更新、デジタル画像の登録、ならびにシステムの改善を行った。

- ① 引き続き、展示履歴および作品解説の入力作業を行った。また、やはり前年に引き続き、画像の閲覧性を高めるべく、画像の配列を改良した。



- ④ 新規撮影したデジタル画像およびポジフィルムの高精細デジタル画像の登録を、引き続き行った。

### (3) 研究資料の整備

美術品の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入・収集・整理を行った。

- ① 昨年度に引き続き、図書の受入や収蔵図書データベースの整備や修正を行うことで、図書管理体制の充実化を図った。アルバイト 2 名を雇用し、購入・受贈図書の新規受け入れの他、一般図書 0 類～9 類までの曝書（蔵書点検）とデータ入力を完了し、データの見直し及び修正を 0 類～6 類まで終了した。また、研究紀要・報告書と雑誌の分類見直しを完了した。
- ② 本年度に刊行した図録および紀要を、国内 241、海外 108 機関に贈呈し、また美術館・博物館など 235 機関の学術刊行物、および当館作品掲載図書など 982 冊を受贈した。
- ③ 展覧会の開催や当館所蔵品の研究のため、222 冊の図書・雑誌を購入した。

### (4) 学術プロジェクトへの参加

- ・当館学芸員（白原由起子）は、前年度より引き続き、特別展「高麗仏画－香りたつ装飾美－」の実施および展覧会図録の刊行を目的とする共同事業を行った。その成果である展覧会を、平成 28 年 11 月に泉屋博古館、同 29 年 3 月に根津美術館で開催し、泉屋博古館学芸員と共同編集による展覧会図録を刊行した。また同展覧会図録には、九州大学および東國大学校の研究者の学術的協力を得た。
- ・当館学芸員（松原茂、白原由起子）は、国際仏教学大学院大学（附置 日本古写経研究所）とともに企画した当館所蔵「春日若宮大般若経」の調査・計測プロジェクトに前年度より引き続き企画し、東京大学史料編纂所、筑波大学、広島大学、國學院大學などの研究者諸氏の協力を得て、平成 28 年 12 月に基本調査の作業を終了した。平成 29 年 3 月、国際仏教学大学院大学は、本作品の計測結果を『春日若宮大般若 調査報告・法量〈稿〉』として刊行し、同大学が開催したシンポジウムでは、当館学芸員が報告者として参加した。本調査を基づく学術的研究は継続され、その成果となる報告書は同大学より平成 30 年 3 月に刊行する予定である。
- ・当館学芸員（白原由起子、多比羅菜美子）は、前年度より引き続き、大英博物館および当館が所蔵する青銅器「双羊尊」の研究プロジェクトを主導した。（計測時に）大英博物館、東京国立博物館、大英博物館、泉屋博古館、富山大学、関西学院大学、東京国立博物館に所属する研究者および技術者による研究報告を、当館紀要『此君』第 8 号に日本語および英語にて収載し、平成 29 年 3 月に刊行した。
- ・館外の研究・教育機関および美術館・博物館が行う各種学術プロジェクトや学会、講演会などに、下記の通り、当館学芸員が参加、あるいは出講し、国内外の研究者や研究機関とその成果を共有した。

西田宏子 国立歴史民俗博物館 科学研究費による陶磁器調査

野口剛 国際シンポジウム「日本美術をみせるーリニューアルとリノベーション」発表「根津美術館の新創事業と現在の活動」

白原由起子 国際シンポジウム及び日本美術専門家会議

ICOM 年次大会（イタリア）

CULCON 美術対話委員会及び公開フォーラム（九州国立博物館）

多比羅菜美子 国立歴史民俗博物館企画展『URUSHI』会議

- ・館外からの依頼により、下記のとおり当館学芸員が講演を行った。

西田宏子 イセ・カルチャーファンデーション NY 特別講演会

- 野口剛 大和文華館特別展「琳派と風俗画—宗達・光琳・乾山・抱一」  
特別講演会「宗達派の草花図」
- ・文部科学省および各教育委員会の要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の指定、保存、国家補償などに関わる会議に委員として参画した。
    - 西田宏子 文化庁文化観光アドバイザー（美術館・歴史博物館分野）  
佐賀県文化財保護審議会
    - 松原茂 文化庁文化審議会専門委員（文化財分科会）  
文化庁登録美術品調査研究協力者会議  
文化庁登録美術品評価会議
    - 白原由起子 文化庁文化審議会美術品保障制度部会・専門調査会  
欧米ミュージアム基盤整備支援事業評議委員会  
上野地区における美術館・博物館の夜間開館を活用したナイトプロジェクト実施業務に関する企画委員会  
ICOM 京都大会運営委員会
  - ・独立行政法人および公私立の博物館・美術館の要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の購入・修理、館の運営などに関わる会議に委員として参画した。
    - 松原茂 文化庁文化財買取評価  
九州国立博物館買取評価  
東京国立博物館寄贈文化財価格評価  
東京国立博物館有形文化財買取協議会  
千葉市美術館美術品等収集審査会  
板橋区立美術館運営協議会

#### （５）美術品の閲覧

所蔵美術品の閲覧申請を受け、研究の目的や学術的成果が期待でき、且つ作品が安全な状態であることを確認のうえ、以下 27 件の研究に協力した。

閲覧日	所属	閲覧作品
[平成 28 年]		
4 月 27 日	兵庫陶芸美術館（1 名）	色絵桔梗文角皿、他 3 件
5 月 13 日	佐賀県立九州陶磁文化館（2 名）	染付唐花草切子形鉢、他 2 件
5 月 15 日	広島大学（1 名）	大般若経
5 月 29 日	東京国立博物館（1 名）、他 3 名	重要文化財 春日宮曼荼羅、他 4 件
6 月 9 日	リートベルグ美術館（1 名）、他 1 名	重要美術品 赤壁図屏風
6 月 18 日	九州国立博物館（1 名）	楼閣人物文螺鈿箱、他 9 件
6 月 19 日	山口県立美術館（1 名）	猿牽図、他 1 件
7 月 7 日	学習院大学（1 名）、他 2 名	重要文化財 五百羅漢図
7 月 9 日	国際仏教学大学院大学（1 名）、他 1 名	重要文化財 大唐内典録
7 月 12 日	ロサンゼルス・カウンティ美術館（1 名）	竹林七賢図巻
8 月 31 日	東京国立博物館（2 名）、他 2 名	重要文化財 牧牛図、他 2 件
9 月 15 日	大和文華館（2 名）	伊勢物語図源氏物語図屏風、他 2 件

9月30日	白鶴美術館（1名）	重要文化財 観瀑図、他5件
10月6日	宮内庁三の丸尚蔵館（1名）	大江山物語絵巻、他1件
10月14日	徳川美術館（1名）	善光寺縁起絵
11月1日	V&A美術館（1名）	黒楽写瓢象嵌文茶碗、他1件
11月8日	アムハースト大学（1名）、他4名	山水図、他1件
11月16日	東京国立博物館（2名）	重要文化財 竹雀図、他6件
11月29日	穎川美術館（1名）	洛中洛外図
12月7日	那須屋（1名）	四季山水図画帖
12月9～11日	富山大学（2名）、他2名	重要文化財 釈迦多宝二仏並坐像、他6件

[平成29年]

1月18日	東京国立博物館（4名）、他1名	聖徳太子絵伝	
1月24日	ハーバード大学美術館（1名）	両帝図屏風	
1月25日	岡山県立博物館（1名）、他1名	虫明焼水指	
1月27日	プリンセスホフ美術館（1名）	阿蘭陀藍絵人物文壺、他9件	
2月3日	町田市立博物館（1名）	安南蓮華文四耳水指	
2月24日	大阪市立美術館（1名）、他2名	源氏物語画帖、他4件	
	計27件	閲覧者54名	作品総数83件

#### 4. 教育普及

##### (1) 催事

引き続き、各展覧会に関連して、館内外の講師による講演会を講堂で開催した（参加費無料、定員130名）。また、担当学芸員が、講堂にてスライド・レクチャーを随時実施した。

[平成28年]

##### ・特別展「国宝 燕子花図屏風 歌をまとう絵の系譜」

講演会：4月23日（土）

三戸信恵氏（山種美術館 特別研究員）

「和歌をまとう日本美術 —平安の歌絵から琳派まで—」

聴講 107名

モーニング・レクチャー：4月16日（土） 野口剛

聴講 78名

4月26日（火） 野口剛

聴講 144名

イブニング・レクチャー：5月10日（火） 野口剛

聴講 115名

##### ・コレクション展「鏡の魔力 村上コレクションの古鏡」

特別企画「若き日の雪舟 初公開の「芦葉達磨図」と拙宗の水墨画」

講演会1：6月18日（土）

島尾新氏（学習院大学 教授）

「若き日の雪舟 —中国へ渡るまで—」

聴講 99名

講演会2：6月25日（土）

山中理氏（白鶴美術館 顧問）

「鏡の文様が語る世界 —神は細部に宿る？—」

聴講 111名

スライドレクチャー：6月24日（金）松原茂

「若き日の雪舟 —中国へ渡るまで—」

聴講 76名

7月1日（金）多比羅菜美子

「鏡の魔力 村上コレクションの古鏡」

聴講 41名

・コレクション展「はじめての古美術鑑賞 絵画の技法と表現」

講演会：8月20日（土）

並木秀俊氏（東京藝術大学 特認研究員／日本画家・截金師）

「煌めく絵画 ―日本の金箔技法―」

聴講 113名

スライドレクチャー：8月5日（金）松原茂 「はじめての古美術鑑賞 絵画の技法と表現」

1回目153名、2回目55名 聴講 208名

8月12日（金）松原茂 「はじめての古美術鑑賞 絵画の技法と表現」

1回目150名、2回目143名 聴講 293名

8月26日（金）多比羅菜美子

「書きたのしみ ―文房具と硯箱―」

聴講 99名

・コレクション展「中国陶磁勉強会」

スライドレクチャー：9月23日（金）多比羅菜美子「中国の漆器」

聴講 54名

10月7日（金）西田宏子「中国陶磁勉強会」

聴講 161名

10月21日（金）西田宏子「中国陶磁勉強会」

聴講 165名

・開館75周年特別展「円山応挙 「写生」を超えて」

講演会：11月5日（土）

馬淵美帆氏（神戸市外国語大学 准教授）

「応挙が目指した絵画世界」

聴講 130名

スライドレクチャー：11月12日（土）野口剛

聴講 137名

11月19日（土）野口剛

聴講 127名

11月25日（金）野口剛

聴講 156名

12月2日（金）野口剛

聴講 120名

12月9日（金）野口剛

聴講 163名

[平成29年]

・コレクション展「染付誕生400年」

スライドレクチャー：1月21日（土）下村奈穂子

聴講 95名

2月4日（土）下村奈穂子

聴講 130名

・特別展「高麗仏画 香りたつ装飾美」

講演会1：3月19日（日）

井手誠之輔氏（九州大学大学院 人文科学研究院 教授）

「高麗仏画の領分 ―中国・日本の仏画との比較から見えてくる世界―」 聴講 125名

講演会2：3月26日（日）

森平雅彦氏（九州大学大学院 人文科学研究院 教授）

「仏への祈りでたどる高麗史」

聴講 144名

スライドレクチャー：3月10日（金）白原由起子「高麗のほとけたち」

聴講 78名

3月17日（金）白原由起子「高麗仏画の色とかたち」

聴講 99名

3月24日（金）白原由起子「高麗仏画の修復と発見」

聴講 77名

加えて、本年度は、無料の特別企画として以下の催事を実施した。

・コレクション展「鏡の魔力 村上コレクションの古鏡」

特別催事「鏡をもってみよう」 講師：多比羅菜美子 会場：中2階ラウンジ

5月28日（土）

参加者 52名

6月10日（金）

参加者 57名

7月2日(土)

参加者 95名

・コレクション展「染付誕生400年」

特別催事「<現代6作家による>茶室でみる磁器の現在」

1月20日(金) 21日(土) 22日(日)

作家：加藤委氏 場所：弘仁亭・無事庵

観覧約 484名

1月27日(金) 28日(土) 29日(日)

作家：庄村久喜氏 場所：弘仁亭

観覧約 563名

作家：新里明士氏 場所：披錦斎・一樹庵

観覧約 590名

2月3日(金) 4日(土) 5日(日)

作家：今田陽子氏 場所：斑鳩庵・清溪亭

観覧約 743名

2月10日(金) 11日(土) 12日(日)

作家：和田的氏 場所：閑中庵・牛部屋

観覧約 1146名

2月17日(金) 18日(土) 19日(日)

作家：十四代今泉今右衛門氏 場所：弘仁亭・無事庵

観覧約 1374名

そのほか、特別展「国宝燕子花図屏風」展期間中の夜間開館時の集客を目的とし、昨年につき「夜間開館特別イベント」を開催。入館者を対象として5月12日(木)午後5時30分から、能楽師 観世鍊之丞師による仕舞「雲林院」の無料公演を1階ホールで行った。立ち見を含め約250名以上の観客から好評を得、夜間開館の認知向上にもつながった。また、日本の伝統行事を楽しんでいただく来館者サービスとして、6月25日～7月7日の期間、本館庭園口の軒下に七夕飾りとして3本の竹を備え付け、来館者が短冊に願いごとを書いて吊るすイベントを行った(参加無料)。約200枚を超える願い事を受け、後日金王八幡神社に奉納した。

加えて、本年度は、有料の特別企画として以下の催事を実施した。

・コレクション展「はじめての古美術鑑賞－絵画の技法－」

特別催事 金箔技法体験「砂子(すなご)をまいてみよう」

8月20日(土)

講師：並木秀俊氏(東京藝術大学 特任研究員/日本画家・截金師)

定員：40名 参加費 3,000円(小学校5年生以上)

申込者：40名、当日参加者 39名

特別催事「茶杓をつくろう」

8月27日(土) 講師：池田泰輔氏(竹楽会講師・竹芸家)

定員 40名 参加費 8,000円(18歳以上)

申し込み者 40名、当日参加者 37名

・コレクション展「中国陶磁勉強会」

特別講座「中国陶磁と漆器を楽しく勉強する会」

会場：講堂 各回定員：40名 参加費：2,000円(中学生以上)

9月17日(土) 弓場紀知氏(石洞美術館 館長)

「土器から唐三彩へ」

参加者 35名

9月24日(土) 堀内秀樹氏(東京大学埋蔵文化財調査室 准教授)

「東大構内から出土したやきもの」

参加者 35名

10月1日(土) 松本達弥氏(漆芸作家・漆芸文化財修復家)

「中国漆器の不思議」

参加者 36名

10月8日(土) 矢島律子氏(町田市立博物館 学芸担当課長)

「色絵磁器のいろいろ」

参加者 38名

10月22日(土) 長谷川祥子氏(静嘉堂文庫美術館 主任学芸員)

「世界を魅了した中国の染付」

参加者 37名

・コレクション展「染付誕生400年」

特別講座「肥前伊万里と中国、オランダ、英国の伊万里写し」

会場：講堂 各回定員：40名 参加費：2,000円(中学生以上)

1月14日(土) 西田宏子

参加者 36名

・特別展「高麗仏画 —香りたつ装飾美」

特別催事 「装飾経の世界 —紺紙金字写経体験」

3月25日(土) 鎌倉・長谷寺より紺紙の写経用紙をご協力いただき実施。

定員40名 参加費2,000円(18歳以上)

申し込み者40名、当日参加者38名

茶室での催事として、本年度も引き続き、秋・春季恒例の、茶道初心者を対象とした「はじめての茶席」を開催した。

・「はじめての茶席 —名残の茶をたのしむ—」

平成28年9月29日(木) 於：披錦齋

定員120名(20名×6席) 参加費2,000円

参加者114名

・「はじめての茶席 —春風にさそわれて—」

平成28年3月24日(木) 於：披錦齋

定員120名(20名×6席) 参加費2,000円

参加者111名

\*9月29日は前売り参加券完売。

・「現代茶人の茶席」

平成27年度に開催し好評だった「現代茶人の茶席」を本年も開催した。根津青山にちなみ、現在著名な実業家あるいは作家であり、茶人としても活躍している4名の方々にそれぞれの趣向で茶席をもっていたいただいた。

平成28年11月19日(土) 故・林屋晴三氏(東京国立博物館 名誉館員)

平成28年11月25日(金) 青井忠四郎氏(株式会社アトム 代表取締役社長)

平成28年12月10日(土) 池田巖氏(漆芸作家)

平成28年12月18日(日) 根津公一(根津美術館 理事長・館長)

4回とも於：披錦齋

各日定員100名(20名×5席) 参加費5,000円

総参加者394名

(2) その他の館内催事

なし

(3) 館外催事

公益財団法人大師会の要請により、平成28年12月1日(木)、第80回忌籌庵忌にて根津乾道席(護国寺月窓軒・月光殿)に協力した。道具とともに学芸部・管理部より職員を派遣した。

#### (4) インターネットによる広報

展覧会や各種の催事、施設などの情報発信窓口である当館ウェブサイト (<http://www.nezu-muse.or.jp>) は、昨年度、英語版に日本語版とほぼ同じ情報量を与えとともに、トップページをスマートフォンやタブレット端末で適切に閲覧できるように改善した。それをふまえ、本年度は、ほぼすべてのページの携帯端末での表示の最適化を行った。年間の閲覧回数は1,240,352アクセス(月平均103,363アクセス)、ユーザー数は793,644名(月平均66,137名)を数えるが、閲覧回数のうち120,197アクセス(全体の約10%)が日本語以外の言語環境から、また743,738アクセス(全体の60パーセント)がスマートフォンもしくはタブレット端末からとなっており、2カ年におよぶりニューアルは、利用者のニーズにそくしたものとなっている。

ウェブサイトに加え情報発信ツールとして定着した感のある Facebook は、今期も常用ユーザー数を順調に伸ばし、期初の約14,000名から、約25,000名に増加した。Twitter でのフォロワー数も期初の約9,000名から大幅に増加し、約22,000名を超えた。3月末には、昨年と同様に Twitter 社の呼びかけに応じ、全世界の美術館・博物館が日替わりのテーマに沿って情報発信を行う「ミュージアムウィーク」イベントに参加。2回目の今年はユーザーの認知度も上がったのか、当館投稿のリツイートは昨年よりおおむね倍増となり、関心の高さがうかがえた。

#### (5) プレスリリース

美術館や展覧会の情報を、各種メディアに告知するプレスリリースを発信し、各展覧会の開催時期に合わせた各種パブリシティへの掲載、雑誌での特集記事やテレビ番組への協力を促進した。特に、展覧会ごとのポスター・チラシのデザインをプレスリリースにも使用して、展覧会のコンセプトを一貫したイメージで訴求できるようあらため、それに伴う制作スケジュールの管理・運用を定着させた。また同時に、ミュージアムショップやカフェの新商品などの告知リリースも配信し、多様なメディアに掲載されることを促し、それによる美術館・展覧会の認知度向上に引き続き努めた。さらに国内のみならず、海外の各種メディアからの問い合わせに対して情報を提供し、ニーズに合った対応に努めた。

#### (6) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット

引き続き、館外3か所に開催中の展覧会ポスターを掲示。館内には次回展のポスターとチラシや、年間スケジュール、根津倶楽部パンフレットを常備し、美術館および展覧会の認知度アップに努めた。英語版の館内配布用展示目録パンフレットならびに英語版チラシの作成・配布を引き続き行った。今年度も、各展覧会の開催時期に合わせ、近隣の商店や公共施設、文化教育施設、美術館、博物館、古美術商などに展覧会のポスターやチラシを配布し、各展覧会の内容に即した特定団体への情報提供を行うなど、きめ細かな誘客活動を行い、さらに、外国人集客に力を入れている東京都や観光庁の旅行案内所、都内主要ホテルへのチラシの定期提供ルートも引き続き開拓した。

#### (7) 内覧会・レセプション

展覧会の開催日前日(年度内7回)に、各種メディア向けの記者内覧会を実施して、展覧会の担当学芸員による展示解説を行い、メディアによる宣伝活動の促進を目指した。この記者内覧会に加え、特別展3回中2回に際しては、美術関係の招待客を対象に特別内覧会及びレセプションも実施し、業界関係者や教育者などを通じての宣伝や誘客を図った。

・特別展「国宝燕子花図屏風 一歌をまとう絵の系譜」

平成 28 年 4 月 12 日 (火)	記者内覧会	出席者 47 名
・コレクション展「鏡の魔力 -村上コレクションの古鏡-		
平成 25 年 5 月 25 日 (水)	記者内覧会	出席者 34 名
・コレクション展「はじめての古美術鑑賞 -絵画の技法-		
平成 28 年 7 月 22 日 (金)	記者内覧会	出席者 40 名
・コレクション展「中国陶磁勉強会」		
平成 28 年 9 月 14 日 (水)	記者内覧会	出席者 26 名
・開館 75 周年記念特別展「円山応挙 -「写生」を超えて」		
平成 28 年 11 月 2 日 (水)	記者内覧会	出席者 66 名
	特別内覧会	519 名
・コレクション展「染付誕生 400 年」		
平成 29 年 1 月 6 日 (金)	記者内覧会	出席者 57 名
・特別展「高麗仏画-香りたつ装飾美-		
平成 29 年 3 月 3 日 (金)	記者内覧会	出席者 40 名
	特別内覧会	410 名

#### (8) 施設案内パンフレット

2009 年の新創開館以来館内に常備してきた施設案内のパンフレット（日本語・英語・仏語・中国語・韓国語）を前年に一新。日本語・英語以外の言語版の制作にあたっては、東京都の観光促進事業主体である東京観光財団が新設した、「美術館・博物館等の観光施設の国際化支援補助金」に申請を行い、費用の半額の補助を受け、本年 4 月から館内外での配布を開始した。

#### (9) 他美術館との協力

- ・特別展「円山応挙-「写生」を超えて-」（11/3-12/18）の会期中、三井記念美術館、五島美術館との共同企画として「秋の三館 美をめぐる」キャンペーンを実施した。これは、他館がキャンペーン対象とする秋季の展覧会の入館券の半券を持参した来館者の入館料の 100 円割引、さらに 3 館の対象展覧会の入館済み半券を持参した来館者をいずれか 1 館の次回展に無料招待するもので、2013 年度より実施している。展覧会が集中する秋季での各館への誘客強化とともに、当館次回展への認知と誘客を狙うもので、このキャンペーンによる割引を利用した入館者は 848 名（総入館者数の 1%超）、次回展「染付誕生 400 年」への招待入館者は 224 名であった。
- ・引き続き、美術館関連団体に加入することで、他の美術館との情報交換を推進し、美術館業界の活性化に努めた。

#### (10) 地域との連携

- ・港区内の美術館として、本年度も、同区が年 2 回発行する広報誌『港区ミュージアムネットワーク』に展覧会情報を掲載し、読者への招待券プレゼント企画に協力した。
- ・港区が三田図書館で開催する「港区ミュージアムセミナー」の一環として、8 月に「はじめての古美術鑑賞-絵画の技法-」展にちなんだ講演を、担当学芸員が行った。
- ・毎年 10 月に開催され、当館も参加している港区主催の「みなと区民まつり」では、記念バッジ購入者向け特典として区内施設が入館料割引を実施した。
- ・港区 Kiss ポート財団 20 周年企画として、10 月に港区立青山生涯学習館で、根津美術館の紹介と「中国陶磁勉強会」の見どころについて学芸員が講演を行った。
- ・昨年に続き港区保健福祉支援部高齢者支援主催の 65 歳以上の高齢者向けイベント「ゆうゆうミュ



ージアム巡り」で、今年度は3月に、20名の参加者を迎え、担当学芸員より特別展「高麗仏画ー香りたつ装飾美ー」展の見どころを解説した。

- ・例年2月に行われる港区主催「ミナコレ冬」イベントでは、今年度は港区が美術館巡りのツアーバスを企画・実施に協力した。「染付誕生400年」展に20名が来館し、担当学芸員より展覧会の見どころを解説した。
- ・展覧会のポスターやチラシを館員が持参して近隣商店や団体に届けることにより、緊密な関係構築に努めた。
- ・近隣の港区立青南小学校3年生の「総合」学習の一環として、近隣施設見学授業への協力要請があり、7月「鏡の魔力」展見学に児童26名、引率教員1名を受け入れた。
- ・港区内の小学校に併設されている学童保育施設「放課Go!クラブ」の青南教室、筭教室の児童の茶室、展示見学を、クラブ職員と連携して実施。1～6年生の児童を、8月2～3日（茶室見学20名）、1月18日（20名）、3月28日（20名）の3回にわたり受け入れた。

#### (11) 有料広告

- ・「国宝燕子花図屏風」、「円山応挙ー「写生」を超えて」、「高麗仏画ー香りたつ装飾美ー」の3特別展への誘客のため、朝日新聞朝刊、日本経済新聞夕刊、読売新聞夕刊にクーポン広告（100円割引券付）を掲出した。各展での掲出状況と利用者集計は以下の通り：

「国宝燕子花図屏風」	計 1,779 名	（朝日・読売）	（4%）
「円山応挙ー「写生」を超えて」	計 4,624 名	（朝日・日経）	（6%）
「高麗仏画ー香りたつ装飾美ー」	計 490 名	（朝日）	（3%）

注：日経新聞、読売新聞への出稿は、朝日新聞に出稿することで得られる特典。

- ・本年度も引き続き、地下鉄・表参道駅のポスター（チラシ配布用ポケット付）掲示を、すべての展覧会において2週間ずつ実施した。これを通じ、駅利用者には毎回300枚～400枚程度のチラシを配布することができた。

#### (12) 根津倶楽部

「根津倶楽部」は、固定客層の獲得を目的として、2009年に開始した会員組織であり、平成24年7月より新たな制度に移行し、入会金3,000円、年会費8,000円で展覧会ごとの案内葉書と1名の招待券を送付し、会員証の提示で入館料無料、ミュージアムショップの1割引（一部商品を除く）の特典を提供している。平成28年度は会員が280名増加し、年度末の会員数は640名となった。

#### (13) NEZUNET

根津美術館の会員制メールマガジン「NEZUNET」（会費無料）は、新創開館以来会員数が増え続け、平成28年度は会員が738名増加し、年度末現在の会員数は5,529名となった。当年度は7回メールマガジンを配信した。

#### (14) 青山茶会

「青山茶会」は、茶道にある程度習熟した人々を対象に、茶道美術への理解と普及、および当館のファンやリピーターを増すことを目的として、1会期5万5千円の会費で、年4回の茶会と4回の講座への参加及び入館料無料の特典を提供する会員制度であり、平成28年度・第四期会員168名が在籍しており、以下の講座と茶会を開催した。また今期より、茶会の回に限り会員以外でも一名当り2万円で参加ができる臨時券の販売を開始した。以下茶会には臨時券での参加者を含んでいる。

[平成 28 年]

第一回講座	4 月 30 日 (土) 講師：谷端昭夫氏「千利休の禅と茶」	参加者 129 名
第一回茶会	6 月 4 日 (土) 席主：裏千家 今日庵	参加者 193 名
第二回講座	7 月 30 日 (土) 講師：泉田玉堂氏「禅と茶の湯」	参加者 120 名
第三回講座	9 月 3 日 (土) 講師：板倉聖哲氏「唐絵と茶の湯」	参加者 104 名
第二回茶会	10 月 15 日 (土) 席主：茶道宗和流十八代 宇田川宗光氏	参加者 167 名
第三回茶会	12 月 3 日 (土) 席主：大日本茶道学会副会長 田中仙堂氏	参加者 183 名

[平成 29 年]

第四回講座	1 月 28 日 (土) 講師：樂吉左衛門氏「楽茶碗」	参加者 131 名
第四回茶会	3 月 11 日 (土) 席主：表千家 不審菴	参加者 211 名

(15) 美術品の館外貸出

以下の展覧会および茶会に、所蔵美術品の館外貸出を行った。

- ・「王羲之から空海へ 日中の名筆 漢字とかなの競演」展  
2016 年 4 月 12 日 (火) ～ 2016 年 5 月 22 日 (日)  
大阪市立美術館 岡寺切 (本願寺本三十六人家集・順集) 一幅
- ・「鈴木其一」展 2016 年 9 月 10 日 (土) ～ 2016 年 10 月 30 日 (日)  
サントリー美術館 夏秋溪流図屏風 鈴木其一筆 六曲一双
- ・「極 大茶の湯釜」展 2016 年 6 月 4 日 (土) ～ 2016 年 7 月 31 日 (日)  
MIHO MUSEUM 重要文化財 芦屋霰地松梅文真形釜 一口  
天明十王口釜 一口  
天明責紐十王口釜 一口
- ・「福井移住 400 年記念 岩佐又兵衛」展 2016 年 7 月 22 日 (金) ～ 2016 年 8 月 28 日 (日)  
福井県立美術館 職人尽絵 (傘張翁) 岩佐又兵衛筆 一幅
- ・「日本磁器誕生」展 2016 年 10 月 7 日 (金) ～ 2016 年 11 月 27 日 (日)  
佐賀県立九州陶磁文化館 染付花唐草切子形鉢 一口  
染付白鷺蓮葉文皿 一枚  
染付柳鳥文菱形皿 一枚
- ・「花鳥画の心 受け継がれる東洋の自然観と理想世界」展  
2016 年 10 月 7 日 (金) ～ 2016 年 11 月 27 日 (日)  
松伯美術館 四季花鳥図屏風 伝狩野元信筆 六曲一双
- ・「高麗仏画 香りたつ装飾美」展 2016 年 11 月 3 日 (木・祝) ～ 2016 年 12 月 4 日 (日)  
泉屋博古館 重要文化財 阿弥陀如来像 一幅  
阿弥陀如三尊像 一幅  
阿弥陀如三尊像 一幅

	阿弥陀如三尊像	一幅
	地藏菩薩像	一幅
	釈迦三尊十六羅漢像	一幅
	紺紙銀字妙法蓮華經	七帖
	褐紙大方仏華嚴經 第十二	一帖
	重要文化財 青磁蓮唐草文浄瓶	一口
	青磁象嵌輪花形盒子	一口
	青磁蓮華文盒子	一口
	青磁象嵌菊花文子盃	一口
	青銅銀象嵌香炉	一口
・「きらめきで飾る 螺鈿の美をあつめて」展		
2016年11月15日(火)～2016年12月23日(金・祝)		
九州国立博物館	楼閣人物螺鈿箱	一合
	楼閣人物螺鈿卓	一基
	楼閣人物文八角合子	一合
	螺鈿飛馬文天目台	一基
	螺鈿花籠図香合	一合
・「上野原縄文の森第47回企画展 近代化の一翼を担った薩摩焼 - その技術と伝統」展		
2016年11月25日(金)～2017年3月20日(月・祝)		
上野原縄文の森 企画展示室	串木野窯陶片資料	
	摺鉢4・片口鉢1・カメ2・鉢1・ツボ2・碗1・窯道具1	
・「高橋箒庵八十回忌記念茶会」 2016年12月1日(木)		
護国寺 於 護国寺 月窓軒・月光殿		
	大津馬図	一幅
	信楽花入 銘 破全	一口
	芦屋八角尾垂釜	一口
	瀬戸海鼠手茶入 銘 深美	一口
	籐組炭斗	一口
	中棗 秀次作	一合
・「白描の美 図像・歌仙・物語」展 2017年1月6日(火)～2017年2月19日(日)		
大和文華館	伊勢物語図源氏物語図屏風	八曲一双
	源氏物語画帖	一帖
	納涼図 冷泉為恭筆	一幅
・「春日大社 千年の至宝」展 2017年1月17日(火)～2017年3月12日(日)		
東京国立博物館	重要文化財 春日宮曼荼羅	一幅
	重要文化財 春日捕陀落山曼荼羅	一幅
	春日鹿曼荼羅	一幅
	春日社寺曼荼羅	一幅
	春日赤童子像	一幅
・「雪村一奇想の誕生一」展 2017年3月28日(火)～2017年5月21日(日)		
東京藝術大学大学美術館	龍虎図屏風 雪村筆	六曲一双
	古天明十王口釜	一口

計 13 か所、56 作品

(16) 画像の貸出

当年度は、187 件の申請を受け、449 点の画像を館外の刊行物や研究者に提供した。その内、貸出し件数の多いものは以下の通りである。

燕子花図 60 件、漁村夕照図 8 件、夏秋溪流図 6 件、那智瀧図 5 件、平家物語画帖 5 件、吉野龍田図 4 件

(17) 施設の貸与

以下の講演会・茶会等に講堂・茶室等の施設を貸与し、催事への協力を行った。

・講演会他（講堂）

[平成 28 年]

4 月 16 日	茶の湯文化学会	学会	80 名
5 月 11 日	Cincinnati Art Museum	団体	22 名
5 月 12 日	佐野美術館「ミュージッククラブ」	団体	49 名
5 月 14 日	外務省「JapanHouse」	団体／会議	12 名
6 月 30 日	三村ゼミ	団体	60 名
9 月 15 日	水戸商工会議所女性会	団体	23 名
11 月 10 日	山梨文化学園	団体	42 名
11 月 19 日	BritishCouncilJapan	団体	20 名
11 月 22 日	日本文化体験交流塾	団体	30 名
〃	世田谷美術館「美術大学」	団体	47 名

[平成 29 年]

1 月 25 日	ポートランド日本庭園「IAB 会議」	会議	15 名
3 月 7 日	森巖寺	見学・研修	30 名

計 12 件 430 名

・茶会（茶室、講堂）

[平成 28 年]

4 月 23 日	泡茶研究会	茶会	16 名
4 月 24 日	大日本茶道協会	茶会	178 名
5 月 14 日	なごみの会	茶会	137 名
5 月 28 日	東京遠鐘倶楽部（公財）上田流和風堂	茶会	103 名
10 月 9 日	立教大学茶道部	茶会	147 名
〃	淡交会青年部	茶会	30 名
10 月 16 日	茶道宗徧流関東地区	茶会	282 名
10 月 23 日	梶谷宗里社中	茶会	167 名
11 月 3 日	三田福茶会・慶應茶道会	茶会	234 名
11 月 6 日	白石トヨ社中	茶会	58 名
11 月 12 日	聚美会	茶会	139 名
11 月 13 日	汲江会	茶会	307 名
11 月 26 日	緒方香代子社中	茶会	12 名

11月30日	なごみの会	茶会	68名
12月4日	(株)zenplus	茶会	53名
[平成30年]			
1月24,25,26,27日	久保香菜子社中	茶会	19名
2月4日	椿会	茶会	40名
3月26,27,28日	(公財)大師会	茶会	890名
			計18件2,880名

## II 収益事業

### 【事業の概要】

#### 1. 不動産事業

日本殖産興業株式会社と持分割合二分の一で建築した「青山サンライトビル」を建物の当館持分を貸店舗として日本殖産興業株式会社に賃貸し、管理は日本殖産に業務委託。他に、サンライトビル日本殖産持分の地代、駐車場の賃料、NTTドコモの移動通信設備設置料等の収入があった。

### Ⅲ 庶務の概要

#### 1. 役員

平成 29 年 3 月 31 日現在

役職名	勤務	氏名	就任年月日 (初就任年月日)	職歴		
				現職名	最終公務員暦・同一業界 関係歴	退職年月日
理事長	非常勤	根津 公一	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	株式会社東武百貨店 名誉会長	学校教育	なし
常務理事	非常勤	矢野 恵一	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 常務理事	なし	〃
理事	非常勤	安田 弘	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	安田不動産株式会社 顧問	なし	〃
〃	非常勤	島尾 新	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	学習院大学 教授	学校教育	〃
〃	非常勤	渡邊 喜雄	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 26 年 5 月 30 日)	株式会社カインドウェア 代表取締役会長	なし	〃
〃	非常勤	板倉 聖哲	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 26 年 5 月 30 日)	東京大学東洋文化研究所 教授	学校教育	〃
〃	常勤	波多野 定治	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 管理部長	なし	〃
〃	常勤	松原 茂	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 26 年 5 月 30 日)	公益財団法人根津美術館 学芸部長	なし	〃
		8 名				
監事	非常勤	後藤 康雄	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長	なし	なし
〃	非常勤	中瀬 雅通	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 25 年 5 月 29 日)	株式会社三陽商会 相談役	〃	〃
		2 名				

評議員	非常勤	小林 喬	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富国生命保険相互会社 相談役	保険業	なし
〃	非常勤	正田 修	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	㈱日清製粉グループ本社 名誉会長相談役	なし	〃
〃	非常勤	根津 嘉澄	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	東武鉄道株式会社 取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	秋山 智史	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富国生命保険相互会社 取締役会長	保険業	〃
〃	非常勤	堀内 光一郎	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富士急行株式会社 代表取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	望月 朗宏	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	日清紡ホールディングス 株式会社 顧問	なし	〃
〃	非常勤	安田 正	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 評議員	〃	〃
〃	非常勤	有馬 朗人	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	静岡文化芸術大学 理事長	東京大学総長 ・学校教育	平成 5 年 3 月 31 日
〃	非常勤	田村 妙子	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人山種美術財団 理事長	美術館	なし
〃	非常勤	徳川 義崇	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人徳川黎明会 会長	美術館	〃
〃	非常勤	根津 后方子	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 評議員	なし	〃
〃	非常勤	近藤 誠一	平成 28 年 6 月 8 日 (平成 26 年 3 月 19 日)	近藤文化・外交研究所 代表	文化庁長官	平成 25 年 7 月
		12名				

## 2. 職員

平成 29 年 3 月 31 日現在

職 名	勤 務	氏 名	就職年月日	担当事務
館 長	非常勤	根 津 公 一	平成 12 年 1 月 4 日	総 括
学芸部長	常 勤	松 原 茂	平成 20 年 10 月 1 日	日本書画史・学芸部総括
学芸 第一課長 兼 第二課長	常 勤	野 口 剛	平成 20 年 10 月 1 日	近世絵画史・情報管理
学芸第一課主任	常 勤	多比羅 菜美子	平成 15 年 5 月 1 日	漆工史・保存環境
学芸第一課	常 勤	福 島 洋 子	平成 21 年 4 月 1 日	墨跡・学芸庶務・図書管理
学芸第二課	常 勤	下 村 奈穂子	平成 26 年 9 月 1 日	陶磁史・情報管理・画像管理
学芸部 特別学芸員	常 勤	白 原 由起子	平成 20 年 10 月 1 日	仏教美術史
学芸部広報課長	常 勤	所 純 子	平成 24 年 12 月 1 日	広報全般
学芸部広報課主任	常 勤	村 岡 香代子	平成 25 年 1 月 1 日	広 報
学芸部広報課	常 勤	荒 川 麻美子	平成 21 年 4 月 1 日	画像管理・商品開発
管 理 部 長	常 勤	波多野 定 治	平成 19 年 7 月 1 日	管 理 部 総 括
管理部次長	常 勤	鈴 木 康 生	平成 13 年 4 月 11 日	設備管理・顧客サービス
管 理 部	常 勤	田 中 智 子	平成 2 年 9 月 1 日	庶 務・出 納
管 理 部	常 勤	松 井 麻 美	平成 21 年 4 月 1 日	商 品 管 理
管 理 部	常 勤	須 田 瑛 生	平成 26 年 3 月 1 日	総 務・会 計
管 理 部	常 勤	高 室 修	昭和 50 年 3 月 1 日	庭園管理
管 理 部	常 勤	淵 野 史 郎	平成 24 年 9 月 1 日	警 備
		職員 17 名	他に臨時職員 30 名	

顧 問	非常勤	矢 野 恵 一	平成 24 年 12 月 1 日	全 般
顧 問	常 勤	西 田 宏 子	昭和 56 年 4 月 1 日	学 芸 部
顧 問	非常勤	宇田川 真紀雄	平成 12 年 4 月 1 日	管 理 部
		顧問 3 名		



### 3. 役員会

#### (1) 理事会

開催日 平成28年5月11日(水) 10時00分～11時00分

場 所 根津美術館 講堂

#### 議事事項

- ① 平成27年度事業報告の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 平成27年度正味財産増減決算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。

#### 報告事項

- ① 美術館の危機管理体制について報告があった。
- ② 美術品棚卸の実施状況について報告があった。
- ③ 7月27日(水)に内閣府の立入検査が入る旨、報告があった。
- ④ 平成29年度以降の展示検討委員会での検討内容について報告があった。
- ⑤ 理事・監事の任期満了について報告があった。

開催日 平成28年6月8日(水) 9時45分～10時15分

場 所 根津美術館 講堂

#### 議事事項

- ① 理事及び常務理事選任の件  
質疑応答を経て審議の結果、理事長には根津公一理事、常務理事には矢野常務理事を選任することで承認可決された。
- ② 保有株式に係る議決権行使の件  
質疑応答を経て審議の結果、本財団が保有する武田薬品工業、旭硝子、みずほフィナンシャルグループ、NTTドコモの株主総会における議決権行使については、事前に理事からの意義がない限り、今後すべて「会社提案に賛成する」旨の議決権行使をすることで承認可決された。

#### 報告事項

- ① 7月27日(水)に内閣府の立入検査が入る旨、報告があった。

開催日 平成28年8月3日(水) 10時00分～10時30分

場 所 根津美術館 講堂

#### 議事事項

- ① 会計処理規則改定の件  
質疑応答を経て審議の結果、会計処理規則改定について、原案通り承認可決された。
- ② 平成29年度展示スケジュールの件  
質疑応答を経て審議の結果、平成29年度展示スケジュールについて、原案通り承認可決された。

#### 報告事項

- ① 理事長の業務の執行状況について報告があった。
- ② 常務理事の業務の執行状況について報告があった。
- ③ 内閣府立入検査の内容について報告があった。
- ④ ショップ・カフェの固定資産税について報告があった。

開催日 平成 29 年 3 月 8 日 (水) 13 時 00 分～13 時 30 分

場 所 根津美術館 講堂

#### 議事事項

- ① 平成 29 年度事業計画の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 平成 29 年度正味財産増減予算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ③ 施設整備積立金積立の件  
質疑応答を経て審議の結果、施設整備積立定期預金に、今年度予算計上分の 40,000,000 円に加えて 60,000,000 円を繰り入れることを、承認可決された。
- ④ 競争的資金の間接経費の使用に関する指針制定の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。

#### 報告事項

- ① 理事長の業務の執行状況について報告があった。
- ② 常務理事の業務の執行状況について報告があった。
- ③ 平成 30 年度以降の展示検討委員会を本日開催する旨、報告があった。

## (2) 評議員会

開催日 平成 28 年 6 月 8 日 (水) 9 時 00 分～9 時 45 分

場 所 根津美術館 講堂

#### 議事事項

- ① 平成 27 年度事業報告の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 平成 27 年度正味財産増減決算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ③ 理事 8 名選任の件  
質疑応答を経て審議の結果、根津公一氏、矢野恵一氏、安田弘氏、島尾新氏、渡邊喜雄氏、板倉聖哲氏、波多野定治氏、松原茂氏に重任を求めることが承認可決された。
- ④ 監事 2 名選任の件  
質疑応答を経て審議の結果、後藤康雄氏、中瀬雅通氏に重任を求めることが承認可決された。
- ⑤ 評議員 1 2 名選任の件  
質疑応答を経て審議の結果、小林喬氏、正田修氏、根津嘉澄氏、秋山智史氏、堀内光一郎氏、望月朗宏氏、安田正氏、有馬朗人氏、田村妙子氏、徳川義崇氏、根津后方子氏、近藤誠一氏に重任を求めることが承認可決された。

#### 報告事項

- ① 美術館の危機管理体制について報告があった。
- ② 美術品棚卸の実施状況について報告があった。
- ③ 7 月 27 日 (水) に内閣府の立入検査が入る旨、報告があった。

開催日 平成 29 年 3 月 22 日 (水) 13 時 00 分～13 時 45 分

場 所 根津美術館 講堂

議事事項

- ① 平成 29 年度事業計画の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 平成 29 年度正味財産増減予算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ③ 施設整備積立金積立の件  
質疑応答を経て審議の結果、施設整備積立定期預金に、今年度予算計上分の 40,000,000 円に加えて 60,000,000 円を繰り入れることを、承認可決された。
- ④ 競争的資金の間接経費の使用に関する指針制定の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。

報告事項

- ① 平成 30 年度以降の展示検討委員会について報告があった。
- ② 内閣府立入検査の内容について報告があった。

#### IV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。